■使用評価マニュアル: CASBEE札幌(ver.1.0) ■評価ソフト: CASBEE\_Sapporo2007v1.0

重点評価項目   W G S	ギー・省資源、G 緑化、S 雪処理 環境配慮設計の概要配入欄 S室の開口部はT-2相当としている。 ラブ厚及び床材を採用している。 ラブ厚及び床材を採用している。	理物全体·: <b>評価点</b> 3.4  3.0  3.0  3.0  4.1  5.0  4.0  4.0  3.0  3.0  3.0  3.0  3.0  3	世界 (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	住居・宿 評価点	自部分 重	全体 3.2 3.4 3.4
Run	5室の開口部はTー2相当としている。 5ブ厚及び床材を採用している。	<b>評価点</b> 3.4 3.0 3.0 3.0 4.1 5.0 3.0 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	重み 係数 0.40 0.15 0.40 1.00 - 0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.50 0.60 -	評価点	重み 係数 	3.2 3.4 3.4
	ラブ厚及び床材を採用している。	3.4 3.0 3.0 3.0 4.1 5.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.40 0.15 0.40 1.00 - 0.40 0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.60 -	19		3.4
Q-1 室内環境       1 音環境       1.1 騒音       1 問口部遮音性能       2 界壁遮音性能       3 界床遮音性能(軽量衝撃源)       4 界床遮音性能(重量衝撃源)       2 温熱環境       2.1 室温制御       1 室温制御       2 温熱環境       3 外皮性能       4 グーン別制御性       3 外皮性能       4 グーン別制御性       3 飲養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養養	ラブ厚及び床材を採用している。	3.0 3.0 3.0 4.1 5.0 3.0 4.0 4.0 3.0 2.6 3.0 3.0	0.15 0.40 1.00 - 0.40 0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.60	35 35 25 25 25 35	- - - - - - - - -	3.4
1 音環境       1.1 騒音       1 開口部遮音性能       2 界壁遮音性能       3 界床遮音性能(軽量衝撃源)       4 界床遮音性能(重量衝撃源)       2 温熱環境       2.1 室温制御       1 室温設定       3 外皮性能       4 ゾーン別制御性       3 外皮性能       4 ゾーン別制御性       3 外皮性能       2.2 湿度制御       2.3 空調方式       3 光視環境       3.1 屋光利用       1 屋光平       2 方位別開口       3 屋光利用設備       W	ラブ厚及び床材を採用している。	3.0 3.0 3.0 4.1 5.0 3.0 4.0 4.0 3.0 2.6 3.0 3.0	0.40 1.00 - 0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.60	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	- - - - - - - - -	3.4
1   暗騒音レベル   接触機能   1.2 遠音   2   現職機能   2   現場連音性能   2   現場連音性能   3   界床連音性能(軽量衝撃源)   4   界床連音性能(軽量衝撃源)   1.3 収音   2   温熱環境   2.1 室温設定   2.1 室温設定   2.3 変調方式   3   外皮性能   4   ゾーン別制御性   2.3 変調方式   3   大・投環境   2.2 湿度制御   2.3 空調方式   3   大・投環境   3   3   2   2   方位別開口   3   屋光和用設備   W	ラブ厚及び床材を採用している。	3.0 4.1 5.0 3.0 4.0 4.0 3.0 2.6 3.0 3.0	1.00 - 0.40 0.40 0.30 0.15 0.20 0.35 0.50 0.60	39 39 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	- - - - - - - - -	2.6
1.2 連音	ラブ厚及び床材を採用している。	4.1 5.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.0 2.6 3.0 3.0	- 0.40 0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.50 0.60	39 39 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	- - - - - - -	2.6
1.2 遮音     1 開口部遮音性能       2 界壁遮音性能     2 界壁遮音性能(軽量衝撃源)       4 界床遮音性能(重量衝撃源)     1.3 吸音       2 温熱環境     2.1 室温制御       1 室温設定     3 外皮性能       4 ソーン別制御性     3 外皮性能       4 ソーン別制御性     3 空間方式       3 光視環境     3 空間方式       3 光視環境     3 大視環境       3 光光視環境     3 上海       3 光光和用股備     W	ラブ厚及び床材を採用している。	4.1 50 30 40 40 40 3.0 2.6 3.0 3.0	0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.50 0.60	35 35 36 36 88 20 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	-	2.6
1 開口部連音性能     適音を必要とす       2 界壁返音性能     3 界庆適音性能(経量衝撃源)       4 界庆適音性能(重量衝撃源)     4 界庆適音性能(重量衝撃源)       1.3 吸音     2 温熱環境       2 温熱環境     1 室温制御       1 室温設定     資産要額       2 通過     資産要額       3 外皮性能     4 ソーン別制御性       3 外皮性能     4 ソーン別制御性       2 2 湿度制御     2.3 空間方式       3 光・視環境     3.1 屋光利用       1 屋光平     2 方位別開口       3 屋光利用設備     W	ラブ厚及び床材を採用している。	5.0 3.0 4.0 4.0 3.0 2.6 3.0 3.0 3.0	0.40 0.30 0.15 0.15 0.20 0.35 0.50 0.60	10 10 10 10 10	-	2.6
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)     L-55相当のス・L-56相当のス・		40 40 30 2.6 30 30 30	0.15 0.15 0.20 0.35 0.50 0.60	2.0	-	2.6
1.3 吸音		4.0 3.0 2.6 3.0 3.0 3.0	0.15 0.20 0.35 0.50 0.60	10	-	2.6
1.3 吸音   2.1 室温静御	ファスの本名とは、	3.0 2.6 3.0 3.0 3.0	0.20 0.35 0.50 0.60	2.0	-	2.6
2 温熱環境       2.1 室温制御       1 室温設定       2		2.6 3.0 3.0 3.0	0.35 0.50 0.60 -	20 50	-	2.6
2.1 室温制御       1 室温設定       3 外皮性能       4 ゾーン別制御性       2 海疫制御       2.2 湿度制御       2.3 空調方式       3 光・複環境       3.1 屋光利用       1 屋光率       2 方位別開口       3 屋光利用設備		30	0.60 -	8.6 8.0	- - -	
3   外皮性能		3.0	-	50	- - -	
3   外皮性能   W		30	×		_	
4     ゾーン別制御性       金属 産産制御     (金属 大型)       (金属 大型)     (金属 大型) </td <td></td> <td>88</td> <td>- - -</td> <td></td> <td></td> <td></td>		88	- - -			
全主 (日本)   日本			- -	000000000000000000000000000000000000000	-	
2.3 空調方式       3 光・視環境       3.1 昼光利用       1 昼光率       2 方位別開口       3 昼光利用設備			Š -		-	
2.3 空調方式       3 光・視環境       3.1 昼光利用       1 昼光率       2 方位別開口       3 昼光利用設備			2		-	
2.3 空調方式       3 光・視環境       3.1 昼光利用       1 昼光率       2 方位別開口       3 昼光利用設備		*************	§ -		_	
2.3 空調方式       3 光・視環境       3.1 昼光利用       1 昼光率       2 方位別開口       3 昼光利用設備		1.0	0.20	3.0	§ -	
3 光・視環境       3.1 昼光利用       1 昼光率       2 方位別開口       3 昼光利用設備		3.0	0.30	2.0	-	
1     昼光率       2     方位別開口       3     昼光利用設備		3.8	0.25		-	3.8
2     方位別開口       3     昼光利用設備	明日本株大体保していて	4.2	0.30		-	
3 基光利用設備 W	開口面積を確保している。	5.0	0.60	200	g -	
		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-	
			-		-	
		3.0	1.00	300	-	
3.3 照度		<b>3.0</b> 3.0	0.15 1.00		_	
			1.00		- -	
	・全般照明前側・同後側で点滅が可能。	5.0	0.25	8.0	-	
4 空気質環境		4.2	0.25		-	4.2
<b>4.1</b> 発生源対策	☆☆☆の材料を採用し、他VOCにも配慮してい	5.0	0.50		-	
1 化学物質汚染 使用建材はF☆	はななの材料を採用し、他VOGにも配慮してい	る。 5.0 ※※※※※※	1.00		g - -	
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I			8 -		-	
			8 -		-	
4.2 換気		3.0	0.30	****	-	
1		3.0	0.33	30	-	
2   自然換気性能   3   取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		_	
# ####################################			8 -		-	
4.3 運用管理		4.0	0.20		-	
1 CO₂の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御 校内は全面禁煙	としている。	5.0	0.50	**********	-	
Q-2 サービス性能		3.2	0.40	-	<u> </u>	3.3
<b>機能性</b> 1,1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40		-	3.2
1 広さ・収納性		<b>*********</b>	§ -		-	
2 高度情報通信設備対応	## ## / P (# # )	<b></b>			-	
	化基準(最低限)を満たしている。	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観		<b>2.0</b> 1.0	0.40			
2 リフレッシュスペース		************	0.30			
3 内装計画		3.0	0.50		-	
2 耐用性-信頼性		3.4	0.31		-	3.4
2.1 耐震·免震	<b>始の料電器ナな</b> に「~」、7	3.8	0.48		-	
1 耐震性   耐震基準の20%   耐震基準の20%	増の耐震性を確保している。	4.0 3.0	0.80		- -	
2.2 部品·部材の耐用年数		3.0	0.20		8 -	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔 W		3.0	0.29		8 -	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 W		3.0	0.12		-	
3 配管·配線材の更新必要間隔 W		3.0	0.29		-	
4 主要設備機器の更新必要間隔 W		3.0	0.29			
2.2 無好保養報			-		_	
* 保管・配験料の変数			-		-	
3 主用設備機器の事態			8 -		-	
2.4 信頼性		3.2	0.19		-	
2 型的·换気設備		3.0	0.20		-	
2   給排水・衛生設備		3.0 3.0	0.20 0.20		_	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		3.0	0.20		-	
			:	<b>*************************************</b>		
4 機械·配管支持方法	及び災害時専用回線)と光回線(情報及び光電	4.0	0.20	XXXXXXXXXXXXX		

■使用評価マニュアル: CASBEE札幌(ver.1.0) ■評価ソフト: CASBEE\_Sapporo2007v1.0

コアシート	重点評価項目:W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理									
		重点評価項目				建物全体·共用部分				
配慮項目	W	G	S	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み	住居·宿泊	重み	全	
3 対応性・更新性					3.3	係数 0.29		係数	3.	
3.1 空間のゆとり	1				4.0	0.31		-	-	
1 階高のゆとり				各階の階高は3800mm以上確保している。	4.0	0.60		_		
				壁長さ比率は0.13としている。		:		Ş		
				堂長さ几半は0.13としている。	4.0	0.40		-		
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31	3.0	-		
3.3 設備の更新性					3.0	0.38	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<b>}</b> –		
1 空調配管の更新性					3.0	0.17		- 1		
2 給排水管の更新性					3.0	0.17		Š –		
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	<b></b>	-		
4 通信配線の更新性	-				3.0	0.11				
						0.11		Ş		
5 設備機器の更新性					3.0			§ -		
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22		5 -		
3 室外環境(敷地内)					_	0.30	-	-	3	
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	***********	-	2	
		_				<u> </u>	<del>                                      </del>	•	_	
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20		-	3	
3 地域性・アメニティへの配慮	<u>L</u>	<u></u>			4.0	0.40		-	4	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	昇降口に庇、ピロティを設け、職員室から見通しもよく、中庭も設けている。	5.0	0.50		§ -		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50		§ -		
建築物の環境負荷低減性									3	
						0.46			_	
-1 エネルギー				WEST TO THE TOTAL OF THE PARTY	-	0.40	**********	-	4	
1 建物の熱負荷抑制	W			外断熱工法、窓ガラスのLO-Eガラス採用により熱負荷抑制。	5.0	0.30		-	ŧ	
2 自然エネルギー利用				自然採光の採用。	4.5	0.20		-	4	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W			中庭等からの自然採光の採用。	4.0	0.50		5 -		
<b>2.2</b> 自然エネルギーの変換利用	T w		S	太陽光発電パネルの設置。	5.0	0.50		1 _		
			3	温水の変流量制御による、ボンプのインパーター運転。				<del>!</del>	١.	
3 設備システムの高効率化	W			温水の変流重制御による、ホノノの1ノハー۶ー連転。	5.0	0.30	<u> </u>	-	5	
4_効率的運用	<u>L</u>	<u></u>			3.5	0.20		-	3	
4.1 モニタリング	W			電気量、水道量、ガス量等の集計	4.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制	w		1		3.0	0.50				
-2 資源・マテリアル						0.30	_	-	3	
					_			_		
1 水資源保護					3.0	0.15	·····		3	
1.1 節水	W				3.0	0.60	<b>*************************************</b>	3 -		
1.2 雨水利用·雑排水再利用					3.0	0.40		3 -		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67		3 -		
2 雑排水再利用システム導入の有無	w				3.0	0.33		<b>1</b> _		
	**					0.85	***************************************	<del>)</del>	_	
2 低環境負荷材					3.6		<del>  </del>	-	3	
2.1 資源の再利用効率					3.3	0.35		-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67		- 3		
2 非構造材料の再利用効率	W			中庭に再生木デッキ材、屋上の一部に防水層保護マット敷き。	4.0	0.33	<b></b>	<b>3</b> –		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	w				2.0	0.04		§ _		
2.3 有害物質を含まない材料	- ''			環境配慮型の接着剤、塗料、塗り床材を採用。	5.0	0.08		§ _		
	14/			スペース はんかん エイベ エフがい こかがら		1	<b></b>	ş		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W			放开工作工程の八메杉の目 古牡ゼはの日にかけることで	3.0	0.18		5 -		
2.5 部材の再利用可能性	w			躯体と仕上げの分別が容易。内装材は容易に取り外し設備の更新 等がしやすい。一部鉄骨躯体、LGS等再利用可能な材料を使用。	5.0	0.18		§ _		
E16. 13.45   3.13/13.3 BOTT				サル・Cにすい。「即歎月淞冲、LUO寺丹利用り能は竹科を使用。		00		ş		
2.6 フロン・ハロンの回避	1	1	1		3.3	0.18		§ -		
1 消火剤	W	ı	1	フロンガスを使用していない。	4.0	0.33		- 1		
2 断熱材	l w		1		3.0	0.33				
1										
3 冷媒	W				3.0	0.33		_		
-3 敷地外環境						0.30	-	-	2	
1 大気汚染防止	W				3.0	0.15			**	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10		-	;	
2.1 騒音					3.0	0.33	<b>*************************************</b>	-		
2.2 振動	1	1	1		3.0	0.33		- 1		
	1	1	1					4		
2.3 悪臭	1	<b>├</b>	-		3.0	0.33	***************************************			
3 風害、日照阻害の抑制	1	<u> </u>			3.0	0.10		-	- 8	
3.1 風害の抑制		1	1		3.0	0.70		-		
3.2 日照阻害の抑制	1	1	1		3.0	0.30		3 -		
4 光害の抑制	1				3.0	0.05		3 -	-	
	W	G	S		1.0	0.30		<u> </u>	_	
5 温熱環境悪化の改善	VV	u	3				<b>*************************************</b>	3 -	1	
6 地域インフラへの負荷抑制	<u> </u>				3.6	0.30		-	;	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30		3 -		
0.1 Historical School and			1				100000000000000000000000000000000000000	4		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	***************************************	9 -		
				適切な量の駐車スペースを確保し導入口は通学路と分離している	3.0 5.0	0.10		_		

	₹-1 用途別得点表	学校	=	-	-	面積按分	
		14,405 m2	-	-	-	総合スコア	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0	
3	設備システムの ERRによる評価	5.0	-	-	-	5	
	高効率化 個別設備による評価	-	-	-	-		
3.1	空調設備	5.0	-	-	-	-	
3.2	換気設備	-	-	-	-	-	
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-	
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-	
3.5	見咚機設備	_	_	_	_	_	